




# ピサロと印象派

開館10周年記念

カミーユ・

Camille Pissarro  
Patriarche de la modernité

永遠の近代

 本展は、政府による美術品補償制度の適用を受けています。

2012年6月6日 [水] - 8月19日 [日]



兵庫県立美術館  
HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART

開館時間: 午前10時-午後6時(金・土曜日は午後8時まで) 入場は閉館の30分前まで 休館日: 月曜日 ただし7月16日(月・祝)は開館、翌17日(火)は休館 主催: 兵庫県立美術館、産経新聞社、神戸新聞社

開館10周年記念

兵庫県立美術館  
HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART

2012年6月6日(水) - 8月19日(日)

休館日：月曜日 ただし7月16日(月・祝)は開館し、翌17日(火)休館  
開館時間：10:00～18:00(金・土は夜間開館～20:00)入場は閉館30分前まで  
一般1300(1100)円、大学生900(700)円、高校生・65歳以上650(550)円、  
中学生以下無料 ※( )内は、前売料金及び20名以上の団体割引料金(高校生・65歳以上は前売なし) ※障害のある方とその介護の方(1名)は各当日料金の半額(65歳以上除く) ※割引を受けられる方は、証明できるものを持参のうえ、会期中美術館窓口で入場券をお買い求めください。  
□特別展「バーン＝ジョーンズ展」(9月1日～10月14日)とのお得な共通チケットを当館窓口にて販売予定 □前売券発売場所：チケットぴあ、ローソンチケットほか京阪神の主要駅、主要プレイガイド

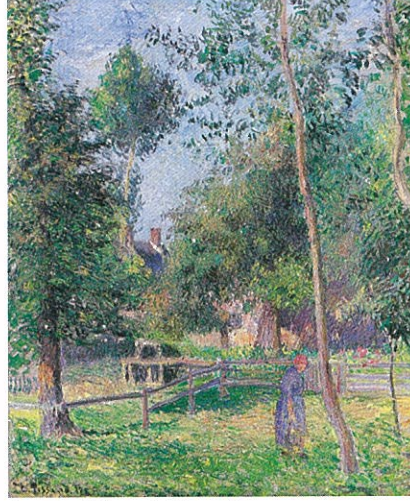
ガミーユ・

Camille Pissarro  
Patriarche de la modernité

永遠の近代



《ロワイヤル橋とフロール館、曇り》1903 ブティノレ美術館



《エラニーの農園》1885 サントリー・コレクション



《立ち話》c.1881 国立西洋美術館 松方コレクション / 第7回印象派展



《エルミターージュの眺め、グラット＝コックの丘、ポントワーズ》c.1867 アルブ美術館/ロー・コレクション



ピエール＝オーギュスト・ルノワール  
《トリニテ広場、パリ》1892-93 公益財団法人ひろしま美術館



クロード・モネ  
《アルジャンツワイユ駅》c.1872 ヴェルドワーズ県議会

## 徹頭徹尾、印象派。

フランス印象派と聞いてまず浮かぶのは、モネやルノワールの名前でしょう。しかし計8回開催された「印象派展」に、実は彼らは半分ほどしか参加していません。

個性あふれる印象派の面々を最年長者として忍耐強くまとめ、8回の展覧会全てに出品したただ一人の画家、それがガミーユ・ピサロ(1830-1903)です。自然の風景やそこに生きる人々にまなざしを向け、明るい色彩で描き出しました。ファン・ゴッホやスーラなど新世代にも慕われ、印象派の表現を追求するためには、時に若者たちの斬新な手法を取り入れることも恐れませんでした。

ピサロの生きた時代は、絵画も社会も大きく変化し、いわば近代の礎が築かれた時代です。印象派の画家たちがチューブ入り絵の具を持ち郊外へ写生に行けたのも、産業や交通の発達のおかげでした。しかしその影では、環境汚染や生活格差がすでに大きな社会問題となっていました。

21世紀の現在、絵画においても、社会においても、「近代」が抱えた諸問題は解決されるどころか、むしろますます混迷を深めているように思われます。このような今こそ、唯一、真の印象派と呼びうる画家ピサロの作品を通じ、「近代」の原点をあらためて見つめ直すべきではないでしょうか。

兵庫県立美術館の開館10周年を記念して開催する本展では、国内外の著名な美術館などが所蔵するピサロ作品約90点に、モネやルノワールらの作品も加え、ピサロの画業を軸に印象派の表現をふりかえります。



《ボール＝マルリーのセズ河、洗濯場》1872 オルセー美術館 / 第4回印象派展  
©RMN (Musée d'Orsay) / Thierry Le Mage



〒651-0073  
神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 [HAT神戸内]  
Tel.078-262-0901(代)  
<http://www.artm.pref.hyogo.jp>

交通案内：阪神岩屋駅(兵庫県立美術館前)から南に徒歩約8分・JR神戸線灘駅南口から南に徒歩約10分・阪急神戸線王子公園駅西口から南西に徒歩約20分・JR三ノ宮駅南から神戸市バス、阪神バスにて約15分「県立美術館前」下車すぐ・地下駐車場(乗用車80台収容・有料)  
※ご来館はなるべく電車/バスをご利用ください。  
※団体バスでのご来館の場合は、バス待機所のご予約をお願いします。

表面：《エラニーの菜園と鐘楼》(部分) 1899 福島県立美術館